

「広島神楽」定期公演へようこそ!

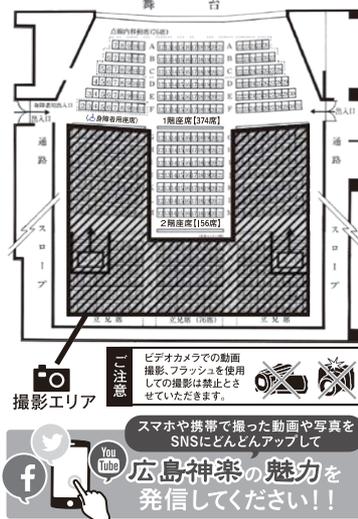
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



9月13日のタイムスケジュール

出演：安野神楽団 (安芸太田町)

19:00～開演

19:05～第一幕『鐘馗』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『山姥』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

やすのかぐらだん

安野神楽団プロフィール ～山県郡安芸太田町～

広島県山県郡安芸太田町穴本郷の鷹崎八幡神社を氏神として、明治42年11月27日に「本郷奉楽会」として結成した後、本郷神楽団となり、昭和55年に安野神楽団へ名称変更し、本年度107年となりました。

矢上系六調子(旧舞)を中心に新舞も取り入れながら各地の秋祭り、イベントなどに奉納させていただいております。

先人たちが残してくれた神楽を大切に伝承しつつ「新しい創造」も行っていきたいと思っております。

今後も皆様のご支援ご指導をよろしくお願いいたします。

第一幕『鐘馗』(しょうき)

「鐘馗」は中国や日本に伝わる魔除けの神様です。

備後風土記には、みすぼらしい姿の武塔神(むとうしん)が一夜の宿を頼み、貧しいながらも温かくもてなした家族に「茅の輪(ちのわ)」を腰に巻くよう言い残し、村中に疫病が流行った際にその家族は助かったという伝説があります。

神楽の演目「鐘馗」はこの伝説などから創作された物語で、須佐之男命(すさのおのみこと)の化身が鐘馗大神と名乗り、民の命を奪おうとする大疫神(だいえきしん=疫病の神)と戦います。

姿なき大疫神を左手に持つ茅の輪で捕らえ、右手の剣で見事退治します。

【出演】	大太鼓 … 上端 一宏	鐘馗大神 … 松本 樹
	小太鼓 … 岡田 信昭	大疫神 … 沖正 紀
	手打鉦 … 伊田 智世	
	笛 … 西川 正典	

第二幕『山姥』(やまうば)

越後の国・上路(あげろ)の山に、山賊退治という勅命を受けた源頼光(みなもとのらいこう)と渡辺綱(わたなべのつな)は迷い込みます。山中のただ一つの灯を見つけ、一夜の宿を願います。しかし、この家に暮らす母と子は、都を追われ世を呪い、人々を恨み、上路の山の山賊となって悪行を重ねる山姥とその子・怪童丸(かいどうまる)でした。

山姥と怪童丸は、武勇の誉れ高き頼光と知らず悪事を企みますが、戦いに敗れ、山姥は怪童丸を見捨てて逃げます。しかし、すぐ立ち戻り我が身の上を明かし、母の一命に替えて怪童丸の命乞いをします。頼光はこの母子の運命を不憫(ふびん)に思い命を助け、怪童丸を家来として都へ連れ帰るとい物語です。

怪童丸は、後に坂田金時(さかたのきんとき)と名乗り、頼光の四天王の一人となります。

【出演】	大太鼓 … 西川 正典	源頼光 … 伊田 光志	山姥 … 沖野 秋雄
	小太鼓 … 上端 一宏	渡辺綱 … 松本 樹	怪童丸 … 沖正 紀
	手打鉦 … 岡田 信昭		
	笛 … 伊田 智世		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。